【様式３】

暴力団等の排除に係る誓約書

私は、

１　下記のいずれにも該当しません。将来においても該当することのないことを誓約します。

２　鶴岡市立荘内病院との契約事案について、下記に該当する者であることを知りながら下請契約又は関連する契約（資材、原材料及び物品の購入契約並びにその他の契約）を締結することはしません。

３　下記の該当の有無を確認するために、鶴岡市立荘内病院から役員名簿等の提出を求められたときは速やかに提出します。また、当該役員名簿並びに鶴岡市立荘内病院未収金回収業務委託公募型プロポーザル参加申込書及びその添付書類に記載された情報等が山形県鶴岡警察署に提供されることについて同意します。

４　暴力団の不当な要求には応じません。また、鶴岡市立荘内病院との契約事案について、不当な要求を受けたときは、ただちに警察署へ通報（「110番通報等」）するとともに、鶴岡市立荘内病院に報告します。

５　この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が入札参加資格の制限等の不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

○　役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が、鶴岡市暴力団排除条例（平成２４年鶴岡市条例６号。以下「暴力団排除条例」という。）第２条第３号に規定する暴力団員等（以下「暴力団員等」という。）であること。

○　暴力団（暴力団排除条例第２条第１項に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等が経営に実質的に経営に関与していること。

○　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用する等していること。

○　役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していること。

○　役員等が、暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有していること。

鶴岡市病院事業管理者　八木　実　様

令和　　年　 月　 日

所　在　地

商号又は名称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　 印